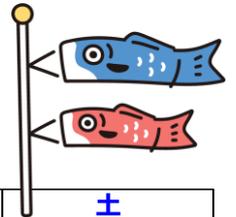


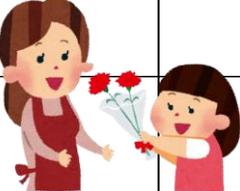
【イベント予定】

岐阜県立多治見病院 緩和ケア病棟 行事予定表



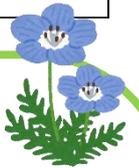
2025年 5月



日	月	火	水	木	金	土
				1 14時～ ふれあい喫茶	2 14時～アロママッサージ	3 憲法記念日
4 みどりの日	5 こどもの日	6 振替休日	7 14時～ 音楽療法	8 14時～ 讃美歌とピアノ	9	10
11	12	13 14時～ ピアノ演奏 15時～ ティーサービス	14 14時～ ふれあい喫茶	15 14時～ ハーモニカ演奏	16 14時～三線	17
18	19 14時～ 音楽療法	20 14時～ 園芸療法 15時～ ティーサービス	21 14時～ ふれあい喫茶	22 14時～ ハーブ演奏	23 14時～ 法話	24 14時～アニマルセラピー(がんも)
25 	26	27 15時～ ティーサービス	28 14時～ ふれあい喫茶	29 14時～ ふれあい喫茶	30	31 
<p>※病棟のイベントは、緩和ケア病棟を退院した患者さんやその家族も参加できます。 都合により参加できない場合や中止の場合もあります。お電話か以下のメールでご確認ください。 電話：0572-22-5311（内線：7493 緩和ケア病棟師長） メール：kanwa@tajimi-hospital.jp</p>						

【コラム】

《『暫くは五月の風に甘えたし』柳家小満ん》



草木の緑がすっかり濃くなった。若い時は、草木の緑などには目などくれていなかった。年齢を重ねると共に、緑に目を奪われるようになった。風の心地良さ、寒くもない、暑くもない、私は『五月』を“さつき”と読みたい。爽やかな風に『甘え』ていたい。もうすぐ汗ばむ暑い夏がすぐそこにある。風であれ何であれ、人はふと何かしらに甘えたいくなる、そんな今の時が好きであると柳家小満んはある雑誌で述べている。

今年で戦後80年を迎える新聞の社会面に『被爆ピアノ未来へ音色』というテーマで広島原爆投下に耐えた『被爆ピアノ』を奏でるコンサートを企画したと記事にあった。爆心地から約3キロ以内で爆風や熱線を浴びたピアノ。調律師で被爆2世の矢川さんが1台託されたのを機に2001年から全国を回るようになった。各地で『平和への祈りを音に乗せて』と被爆ピアノのソロ演奏やピアノに合わせ合唱したりと、平和の種まきが続いている。平和を考えるきっかけになればと、継続して欲しいと思わずにはいられなかった。

先月27日に庭園のメダカ池の清掃が総勢32名の参加で行われた。一時、77匹だったメダカが、今は146匹となり元気に泳ぐ姿は、私たちに感動を与えてくれた。また周りではネモフィラ、レースフラワー、そしてモッコウバラなど花が咲き、ニンニクやじゃが芋も大きく育っている。春の爽やかな風を皆様届けたい。

ボランティアコーディネーター：河村銘子

